

- ①明けておめでとうございます。2023年が始まりました。
今日の始業式も、パワーポイントの画面を共有し、プレゼン形式で式辞を述べたいと思います。

令和5年1月6日

令和4年度 3学期 始業式

校長式辞

- ②これが、本日の始業式の式辞の内容です。

- 1 今年はうさぎ年 →身の回りのうさぎを探してみよう
- 2 野生のウサギとは？
- 3 これからの学校生活について

の3本です。20分程度ですので、楽にして聞いてください。

式辞の内容

- 1 今年はうさぎ年(卯年)

？身の回りのうさぎを探してみよう

- 2 野生のウサギとは？

- 3 これからの学校生活について



③さて、今年はうさぎ年です。この「卯う」という文字は、門が開かれて草木が繁茂する状態を表しています。まさに、成長の年ということです。

また、「う」という音から、動物のうさぎを表す漢字が当てられるようになり、うさぎ年となりました。うさぎから連想されるように、跳躍の年でもあります。

1 今年はうさぎ年(卯年)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
(ね)	(うし)	(とら)	(う)	(たつ)	(み)	(うま)	(ひつじ)	(さる)	(とり)	(いぬ)	(い)
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?
鼠	牛	虎	兎	龍	蛇	馬	羊	猿	鳥	犬	猪
											

④それでは、身の回りにある「うさぎ」をさがしてみましょう。
まずは、佐高のお隣にある学問の神様である天神様が祀られている朝日森天満宮です。

？身の回り(佐野)のうさぎを探してみよう



朝日森天満宮

⑤ 1月4日に初詣に行きましたが、うさぎをあらわすものとして「張り子干支」がありました。通常は赤ベコですが、今年は「うさぎベコ」が売られていました。かわいいですね。

？身の回り(佐野)のうさぎを探してみよう



※校長室に飾ってあります。
見に来てください！

うさぎベコ

⑥続いて、お菓子です。佐野市内の「うさぎや」菓子店では、うさぎの形をした「うさぎ最中」が大人気でした。1月3日の新聞記事でも紹介が載っていました。

？身の回りのうさぎを探してみよう



うさぎ最中(うさぎや)

※実際にお店で許可を得て撮影しました

⑦次は、佐野市内の法雲寺というお寺の御朱印です、ここでは、いつも、うさぎがトレードマークになっています。

？身の回りのうさぎを探してみよう



うさぎの御朱印(法雲寺)

※実際に御朱印を
いただきました

⑧そして、生きているうさぎです。知り合い（佐高の卒業生です）がペットとして飼育していました。パンダウサギという品種です。ひたすら草を食べています。

？身の回りのうさぎを探してみよう



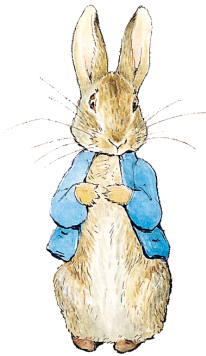
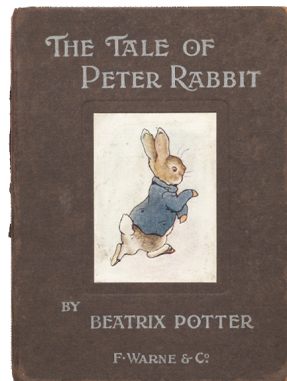
ペットのうさぎ(パンダうさぎ)

※飼い主から写真をいただきました

⑨最後は、皆さんも良く知っている「ピーターラビット」です。イギリスのビアトリクス・ポターという作家によって、1902年に最初の一冊が出版されました。

これ以外にも、あると思いますが、うさぎが、とても身近な動物であることは、お判りいただけたかと思います。

？身の回りのうさぎを探してみよう



PETER RABBIT by BEATRIX POTTER

※ピーターラビット公式サイトより引用 <https://www.peterrabbit-japan.com/>

⑩さて、次のお題「野生のウサギとは」に進んでいきます。

まずは、うさぎクイズです。

クエスチョン1 野生のウサギ（ノウサギ）とは、野良犬や野良猫などのように、ペットのウサギが野生化したものである。○か×かで答えてください。○だと思う人、手を上げてください。×だと思う人、手を上げてください。

2 野生のウサギとは？

Q1 野生のウサギ(ノウサギ)とは、ペットのウサギが野生化したものである。

① ○

② ×

それでは正解は

⑪×です。ペットのウサギが野生化したものではありません。それでは、野生のウサギとは何なののでしょうか？

2 野生のウサギとは？

Q1 野生のウサギ(ノウサギ)とは、ペットのウサギが野生化したものである。

？ 正解は **×**

⑫正確なことを調べるため、私も皆さんと同じようにフィールドワークを行いました。栃木県立博物館の学芸部長で、脊椎動物が専門の林光武（てるたけ）先生に教えていただきました。

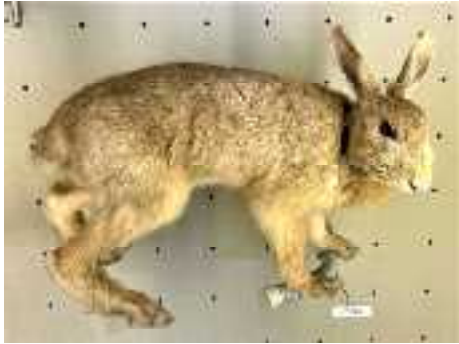
2 野生のウサギとは？



栃木県立博物館学芸部長 林光武さん(脊椎動物が専門)

⑬野生のウサギとは、日本固有種（日本にしか生息していない種）であるニホンノウサギが、この辺りで見られる野生のウサギ、だそうです。ニホンノウサギは、読み方に注してください。ニホンノ・うさぎではなく、ニホン・ノウサギです。写真は、博物館で展示してあるニホンノウサギの剥製です。とてもよくできていました。

2 野生のウサギとは？



読みかた
に注意！

ニホンノウサギ(日本固有種)

※栃木県立博物館展示の標本

⑭続いて、うさぎクイズの2問目です。
野生のウサギ（ニホンノウサギ）を英語で言うとJapanese Rabbit
である。

2 野生のウサギとは？

Q2 ニホンノウサギを英語で言うと、
Japanese **Rabbit**である。

① ○

② ×

○か×かで答えてください。
○だと思う人、手を上げてください。×だと思う人、手を上げて
ください。
それでは正解は

⑮ × です。

ニホンノウサギを英語でいうと、Japanese Hare ヘアーで、
Japanese Rabbit ではありません。

2 野生のウサギとは？



ニホンノウサギ Japanese Hare

※栃木県立博物館展示の標本

⑮実は、世界中のウサギは、大きく、ノウサギ類とアナウサギ類
にわけることが出来ます。ノウサギ類は、すべて Hares で表し、ア
ナウサギ類はすべて Rabbits で表します。この場合は複数形で s を
付けています。ノウサギ類は、ほぼ全世界に自然分布していますが、
アナウサギ類はアメリカやヨーロッパなど、分布が限られて
いるのがわかります。

2 野生のウサギとは？

ノウサギ類



➡ Hares
(ヘアーズ)

複数形のSがつい
てます！

アナウサギ類



➡ Rabbits
(ラビッツ)

？ 朝日新聞社「朝日百科 動物たちの地球」
9巻 哺乳類Ⅱ 308pより引用

⑱この2つの仲間は、実ははっきりとした違いがあります。

2 野生のウサギとは？

Hares

ノウサギ



- ・長い脚と長い耳
 - ・大きな心臓とミオグロビンを持った赤色の筋肉
 - ・軽量化した骨格、耳に黒い斑点
 - ・硬い樹皮や小枝を好む
- ⇒逃走時の最高時速80km
行動範囲は10～300ha
⇒飼育は困難

Rabbits

アナウサギ



- ・肢や耳はノウサギより短い
 - ・巣穴を掘って生活
 - ・柔らかい草やニンジンなどの野菜を好む
- ⇒逃走時は穴に逃げ込む
行動範囲は0.5～3ha
⇒ペットとして品種改良

ノウサギ類 Hares ヘアーズは、長い肢と耳をもっており、心臓も大きく、筋肉も強力です。逃走時は、なんと時速80kmで走ることが出来ます。100mを約5秒で走ることが出来ます。硬い樹皮や小枝を好んで食べます。そのため、人が飼育するのは非常に難しいそうです。動物園でもノウサギを飼育しているところは限られています。基本的に、ペットとして飼われることはありません。

一方、アナウサギ Rabbits ラビッツは、ノウサギほど、肢や耳が長くなく、走るのはあまり速くありません。アナウサギの名前の通り、普段は穴を掘って、その中で生活しているので、敵に襲われた時は、走って逃げるのではなく、巣穴の中に逃げ込みます。やわらかい草やニンジンなどの野菜を好んで食べることから、ペットとして飼われ、非常に多くの品種が作られています。かつては、学校などでも飼われていることが多かったですね。

これで、日本の野生種が Hares ヘアーズで、ペットのうさぎがすべて Rabbits で、あることが分かったかと思います。

⑳さて、段々佳境に入ってきました。3番目のクイズです。

野生のウサギ（ニホンノウサギ）は、いつ頃から日本にいるのでしょうか？

1 数万年前、2 縄文時代 3 弥生時代、 4 江戸時代、 5 明治時代の5択です。それぞれ、心の中で1つ選んでください。

2 野生のウサギとは？

Q3 野生のウサギはいつ頃から日本にいるのか？

- ① 数万年前
- ② 縄文時代
- ③ 弥生時代
- ④ 江戸時代
- ⑤ 明治時代

それでは、ここでもう一人の専門家に登場してもらいます。

② 葛生化石館の学芸員である奥村よほ子先生です。

奥村先生は、毎年、その年の干支に関する動物の化石の展示を行っています。今年も卯年にちなんだ展示がなされていました。

1月4日に取材に行きました。

2 野生のウサギとは？



「葛生化石館」の学芸員、奥村さん

②それによると、葛生石灰岩地域（数万年前の地層）から、現生種であるニホンノウサギの化石が出土しました。

2 野生のウサギとは？



葛生石灰岩地域（数万年前の地層）からニホンノウサギの化石が出土

③この化石が出た地層は、ヤベオオツノジカやニホンムカシジカ、ナウマンゾウの化石と同年代です。

同時代の地層から出土した化石



ヤベオオツノジカ

ニホンムカシジカ

※葛生化石館展示の標本

④また、昨年度、紹介したトラの化石が出たのも同じ地層です。

⑤つまり、今から数万年前の今よりも寒冷的な気候の中、これらの動物が共存していたことが分かりました。おそらく、ウサギはこうした肉食動物のエサになっていたのではないかと思います。



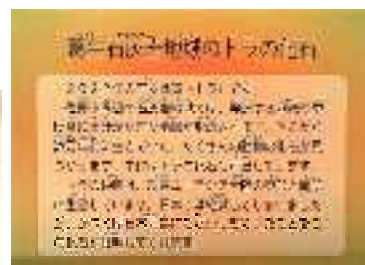
ヤベオオツノジカとナウマンゾウ

※葛生化石館展示の標本

トラ



足の骨



犬歯

※葛生化石館展示の標本



※葛生化石館展示のイラスト

ということで、答えは①の数万年前が正解でした。

②④さて、Hares ノウサギは、数万年前に大陸から日本に渡ってきて、それ以来、日本の在来種となりました。そのことは、現存する最古の書物である「古事記」にサメの上を跳躍する「因幡の白兔」のお話や「カチカチ山」の昔話、そして高山寺所蔵の国宝「鳥獣人物戯画」の中で、躍動するウサギたちの姿からも確認することができます。

Hares (ノウサギ)

(数万年前)



因幡の白兔
(古事記)

※フリー素材集「いらすとや」より使用



カチカチ山
(昔話)



鳥獣戯画
(高山寺)

※高山寺のHPより引用

②⑤一方、アナウサギ Rabbits は、後から日本に移入された動物ですが、最古の記録は、江戸時代に丸山応挙が書いた「百兔図」(ひゃくとず)の中に、まさにパンダウサギの群れを見ることが出来ます。

Rabbits (アナウサギ)

(江戸時代)



百兔図: もっとも古い Rabbits の図 (丸山応挙、1784年)

※ライフコラム 生きものがたり「うさぎの日本史」(帝京科学大学教授 桜井富士朗)より引用
https://style.nikkei.com/article/DGXNASDG1104A_R10C13A9000000?page=2

②⑥ さらに、明治時代になると、肉や毛皮をとることを目的として、人々がこぞってウサギを繁殖させる「うさぎブーム」が訪れました。ノウサギを飼育することはできませんから、これらは輸入した **Rabbits** です。あまりにも人気が出過ぎたため、うさぎ税なるものが課税されたそうです。月1円というのは、月給が7, 8円でしたので、相当な高額です。それでも儲かるほどの人気だったのでしょう。

そんな中で、独自の品種改良も行なわれ、日本白色種ジャパニーズ ホワイトが誕生しました。白い体毛と赤い目が特徴で、アルビノです。まさに、日本人のウサギのイメージとなるものが作られました。もちろん、これも **Rabbit** です。

Rabbits (アナウサギ)

1902年 PETER RABBIT 出版

(明治時代)

うさぎブーム: 1872年にうさぎ税(月1円)が創設



日本白色種(白い体毛、赤い目)が開発された

※ライフコラム 生きものがたり「うさぎの日本史」(帝京科学大学教授 桜井富士朗)より引用
https://style.nikkei.com/article/DGXNASDG1104A_R10C13A9000000/

②⑦ さて、いよいよ最後のクエスチョンです。

2 野生のウサギとは？

Q4 ニホンノウサギは、今や「絶滅危惧種」である。

① ○

② ×



※葛生化石館展示の標本

日本はラビットの天下で、犬や猫に次ぐ第3のペットと言われるまでになってきました。さて、そんな中、在来種であるニホンノウサギは、いまや「絶滅危惧種」である。これも○か×かで答えてください。

⑳実は、ニホンノウサギは、身近なところで、ひっそりと生き延びています。県立博物館の林さんによると、数が明らかに減っている、というわけではなく、普通に生息しているようです。つまり、絶滅危惧種ではありません。

2 野生のウサギとは？



実は、身近なところで、たくましく生き延びている。
⇒絶滅危惧種ではない

この写真は、去年の5月の連休中に、トウキョウサンショウウオの調査をしていた時に、なんか生き物が山から降りてきて、私と鉢合わせしました。その動物は、とにかくびっくりして、川に飛び込み、数メートル泳ぎ、私から少し離れたところで、また、土手を登って山に戻ろうとしましたが、斜面が急だったのと、滑りやすかったせいで、何度も登ってははずり落ち、必死に上りました。やっと登れて姿を隠すことが出来ましたが、まさに「ニホンノウサギ」でした。本当にびっくりしたんだなと、なんだか気の毒になったくらいです。

㉑最後のまとめです。

一つ目は、現在、ウサギというと、アナウサギ（Rabbits）がイメージされるが、あくまでもペットとしてのウサギである。

二つ目は、日本固有種のニホンノウサギ Japanese Hare が日本には生息している。そして、敏捷な動きと高速走行、特異な跳躍力を持っていること。

2 野生のウサギとは？

＜まとめ＞

- ・ウサギというと、**アナウサギ(Rabbits)**がイメージされるが、あくまでもペットとしてのウサギである。
- ・日本固有種の**ニホンノウサギ(Japanese Hare)**は今も野生で生息している。危険察知、敏捷な動き、高速走行、群を抜く跳躍力を持っている。



③⑩その結果、ノウサギ類は、並外れた跳躍力と危険をいち早く察知する耳を武器に、短期間で、全世界に分布を広げました。このことは、現生のヒトであるホモサピエンスが、アフリカで誕生してから、瞬く間に全世界に生活圏を拡大したのと、似ているところがあると思いました。ヒトは、発達した脳が好奇心を生み、新しい土地を目指したように、ノウサギ達も、危険を察知しながら、広い空間を駆け抜けたのではないかと、思いを馳せました。
(ここは個人的な感想です))

一方、アナウサギ類については、自然分布は限定的でしたが、ペットとして人間の手によって世界中で飼われるようになってきました。

2 野生のウサギとは？

ノウサギ類

Hares

(ヘアーズ)



Hares の戦略

優れた移動力で短期間で、全世界に分布域を広げた

アナウサギ類

Rabbits

(ラビッツ)



Rabbits の戦略

自然分布は限定的であるが、ペットとして全世界で生活している。野生ではない。

それぞれのウサギの仲間の戦略は、このように相反するものです。普段目にするウサギは、ペットとして飼われているアナウサギ Rabbit ですが、私たちが抱いているウサギのイメージ、慎重に情報を収集し、いち早く危険を察知し、すばやく行動する、際立った跳躍力、それらすべては、日本で古来から生息してきたノウサギのもつ特徴でした。決して群れることはせず、ハイスペックです。

私たちは、うさぎ年に当たり、我が国のウサギの原点である、ニホンノウサギのことを考え、そこから学ぶことも大切なのではないかと思います。

③① 今回の課題研究、そしてフィールドワークでは、お二人に大変お世話になりました。



栃木県立博物館学芸部長 林さん 「葛生化石館」の学芸員、奥村さん

③② 今日の式辞の振り返りです。

今日の式辞の振り返り

- 1 今年は卯年 * 草木が伸び大きくなる様子を表す。
成長の年である。また、跳躍、豊穰の年。
- 2 野生のウサギとは？
* ノウサギHareの戦略から学ぼう
(長い耳から情報を得て、瞬時に行動、世界に拡散
ハイスペック、群れない)
- 3 これからの学校生活について
* 君たちはすでにノウサギのように跳躍している。
体調を整え、自信を持ってチャレンジしよう。

生徒の皆さん一人一人にとって、令和5年がノウサギのように軽々と跳躍し、成長する年となるよう、心から祈り、3学期始業式の校長式辞とします。高校3年生は、来週の共通テスト頑張ってください。

令和5年1月6日

令和4年度 3学期 始業式

校長式辞